**ヨハネによる福音書9章**

**【生まれつきの盲人をいやす】（1～12節）**

Q1.「神の業がこの人に現れるため」とは？

 補足：当時は肉体的な病気は本人や親族が生前、及び生後起こした罪の報いであるとされていた。

Q2.では、この人もこの人の両親も罪がないのであれば、どうしてこの人は目が見えない苦しみを受けなければいけなかったのか？つまり、最初から目が見える状態で生まれてきたならば目が見えない苦しみを味わうことが無いのだが、わざわざ神がこの人を目が見えない状態で生まれさせたのはなぜだろうか？

Q3.「まだ日のあるうちに」「誰も働くことのできない夜」とは？

～閑話休題その１～

視力が良くないからといって、聖書の記述を参考にその辺の泥を目に塗って池の水で洗い流すことは推奨しません。結膜炎などの感染症にかかる可能性があります。近くの眼科医にご相談ください。

～閑話休題その２～

目が見えないのにどうやってこの人はシロアムの池に行く事ができたのか？もしかしてもともと目が見えていたのに、見えていないふりをして物乞いをしていたが、イエスにそれを見破られ、「みっともないからやめなさい」と諭され、やめるきっかけを与えられたのかも。（普通に考えると、近くの人に池まで連れて行ってもらったと考えるのが妥当。）

**【ファリサイ派の人々、事情を調べる】（13～34節）**

Q4.復習：安息日とは？

Q5.安息日は何のためにあるのだろうか？

Q6.イエスはどうして安息日に人を癒したのだろうか？

**【ファリサイ派の人々の罪】（35～41節）**

Q7.39節「見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる」について、「見える」ということはどういうことを言っているのだろうか？

Q8.41節「『見える』と言っているから罪は残る」とはどういうことか？